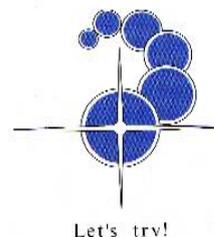


# 進路だより第8号

令和元年12月24日(火)



高みに向かって努力を続けることは、決して無駄ではない。  
今は無駄が多くて徒労のように見えるかもしれないが、少しずつ頂点へと進んでいるのは確かなのだ。

今日はまだ到達にはほど遠いだろうが、明日にはもっと高みへと近づくための力が今日鍛えられるのだ。

～ニーチェ『漂泊者とその影』

進路だより第7号で、4、5年生の11月進研模試の結果について掲載しました。1月の進研模試は1月18日、19日に行われます。実力アップのための計画的な学習は進んでいるでしょうか。今回は次回模試に向けたアドバイスをいただいています。参考にして学習に取り組んでください。

文部科学大臣より『大学入学共通テストの記述式が延期になる』との発表がありました。そのため、各大学の記述式への対応の変更や、大学入学共通テストの試験時間の変更など、今後発表される新たな情報に注意を払ってください。進路指導部としても、新たな情報を進路便り等で伝えていきます。

## 4 学年

○各教科より11月模試の分析と次回模試に向けてのアドバイス(4年)

### 国語 [分野別平均点]

分野	全国平均	校内平均	差
評論	15.4点	16.0点	+0.6
小説	10.2点	11.3点	+1.1
古文	13.7点	17.4点	+3.7
漢文	7.2点	10.3点	+3.1

11月の模試の結果から、どの分野も全国平均を上回っているものの、4年生の特徴として、現代文(特に評論)が弱いことが分かります。皆さんの答案(記述部分)を見てみますと、「単純な本文抜き出し」「言葉足らず(説明不足)」「推敲が甘い」などが見受けられます。

そして、記述問題で空欄の多い人は、点数も伸び悩む傾向にあるようです。

(記述のポイント確認)

- 問いの意図を理解することができる。
  - 解答の根拠となる部分を本文から見つけることができる。
  - 解答の核となる部分を記述することができる。
  - 抽象的な表現について、本文の内容を踏まえて分かりやすく言い換えることができる。
- 誰が読んでも理解できる解答が作れるように心がけてみましょう。

また、偏差値層の推移として、偏差値70台が減少(4人→2人)、40台が増加(17人→21人)となり、全体的に偏差値を下げた人が多かったように思われます。12月の半ばからは、希望者対象に放課後補習も開始する予定です。この時期を大切に過ごして、今年度最後の1月模試を迎えてください。

## 数学

小問集合の取りこぼしが多かったと思います。今一度、定義を確認しましょう。「展開」はカッコを外す。「因数分解」は( )の形で終わらせる。「方程式」は $x = \sim$ の形を作る。問題文に適する解答を作りましょう。また、大問2のような対話形式など、見慣れない問題に対してはじっくり文章を読み、意味を理解し、正答することが大切です。2次関数に関しては、平方完成はほとんどの生徒ができています。条件が複雑になるとあきらめる傾向がみられるので、具体的に書き上げてみる必要があります。頭の中だけでなく、実際に書いて現状を理解しましょう。

選択問題では、場合の数の得点率が高いです。このように得意分野を作ることが大切ですが、1月模試では場合の数の出題がなくなります。場合の数を得点源にしていた人は、問題集や過去問冊子で演習と復習をしっかりと行い、得点率が下がらないようにしっかりと準備しましょう。

## 英語

全体の講評 皆さんの答案を見る限り、多くの人が「空欄がない状態」でした。これは評価できません。マーク試験が、All or Nothingの世界である一方で、記述試験は「グレーゾーン」をいかに「ホワイト」にするかが課題です。空欄があった人は、①時間がないためなのか、②知識がないためなのか、などをまずは分析しましょう。

表現問題 そう考えると、英作文の自分の解答を見直すことは大変有益です。答案に△がついている箇所の理由を考え、1冊のノートにまとめると効果的です(人のミスは案外、毎回同類のものです)。

文法 できた問題でも、7月の問題についても、解説を見て、まずはポイントを見極める復習をしましょう。

長文読解 書いたのに得点になっていない人は、根拠となる場所が異なる可能性が高いです。解説で着眼点の確認を。

全体の対策 教科書や模試問題の音読のほか、英作文や並べ替え問題の「答え」を毎日、音読、暗唱することが一番シンプルで効果的な方法です。

## 5 学年

○ 1 1月模試の分析と次回模試に向けてのアドバイス (5年)

### 国語

5学年の国語は今回偏差値54.8と前回54.0だった所から0.8ポイント成績が上がりました。内容をよく分析してみると、他校比較では、県内高校や中等教育学校の多くが平均を下げる中、本校が微増ながら平均を上げたので、前回より4つ順位を上げて、ベストテン入りしました。しかし、よい結果とは程遠い内容です。主要3教科の中では苦戦が続いています。「盤石の基礎」これが5学年国語科に課された使命だと考えます。6学年になっても戦える基礎学力、これなくては話になりません。

5学年国語科では、品詞分解を中心とした予習ノート<sup>①</sup>の提出が今回で8回目、9回目となります。古文単語の100問テスト<sup>②</sup>も次で3回目となります。ここから勝負です。1月の模試に向けて、随分時間をかけて準備をしてきました。漢文は60句法に絞ったプリント<sup>③</sup>。現代文は要約演習<sup>④</sup>。

前回、偏差値40台の層の人たちが、今回は5人ほど成績を50台に上げました。次回こそ飛躍のチャンスです。共に頑張りましょう。

## 数学

14期生の「数学計」平均点偏差値推移

4年 7月 55.7 11月 56.5 1月 55.7 / 5年 7月 58.7 11月 58.0

大問	分野	全国平均	校内平均	20点	～16	～12	～8	～4	～0
1	小問集合	10.7点	13.0点	7人	17人	21人	19人	5人	0人
2	図形、2次関数	8.6点	11.6点	14人	9人	14人	12人	9人	11人
3	高次方程式	3.6点	6.7点	0人	0人	3人	30人	28人	8人
4	図形と方程式	5.4点	7.3点	0人	1人	8人	2人	18人	3人
5	三角関数	6.4点	13.9点	7人	1人	2人	1人	1人	2人
6	微分法	7.0点	8.7点	5人	0人	2人	19人	7人	8人
7	ベクトル	6.8点	10.3点	1人	11人	8人	10人	10人	8人

14期生の数学の力は上昇傾向である。4年生の頃から見たら勉強している生徒が増えたからだと考えられる。この上昇傾向を維持するためには、苦手分野を得意に変えること。さらなる問題演習に取り組み、実践力を養うことが一人一人の力を上げるだろう。今回は、分野ごとに全国平均点と比較し、段階別得点人数から分析してみた。

今回の模試では、高次方程式が最も難易度が高く、全国平均点は3.6点（20点満点）であった。高次方程式の分野では、61人が平均点を超え、宿題や授業などで行った学習の成果が現れたように思える。しかし、高得点をとれた人がおらず、ここで全国の最上位者と差が出てきた。大問1と2の図形では、三角比の問題が出題された。三角比については、7月の模試で特訓したが、11月の模試で正弦定理や余弦定理などの三角比の問題に正解したのだろうか。本番まで約1年である。1回1回の問題演習を大切にしてほしい。勉強したのにできなかった問題は、悔しさをもってもう一度特訓し、次回は絶対に間違えないよう頑張してほしい。

次回に向けて、模試の過去問題集はすでに配付した。いつもよりも内容が豊富である。この1冊を完璧にすれば、入試に対する基礎力が幅広くついたことになる。しっかりと時間をとって学習し、理解できるよう努めてほしい。この問題集で物足りないと感じる人は、チャート、サクシード、教科書を活用しよう。1月の模試、大学共通テスト、大学個別入試に向け勉強だ！

## 英語

参考今年7月と11月の模試の結果を各分野別に新潟県内の他校と比べてみると、14期生の順位は以下のように推移しています。**リスニング**10位→8位にUP、**文法・語法**6位→4位にUP、**長文読解(物語文)**8位→6位にUP、**長文読解(論説文)**7位→7位変わらず、**表現力**4位→8位にDOWN

本校は、ほとんどの分野で上昇しています。みなさんの努力の結果が表れていると言えるでしょう。特に**文法・語法**で点数が取れているのは基礎が定着しつつあることを示しますので、自信にしてください。しかし油断せず、日々の授業、課題、朝テストなどを活用し、基礎をさらに固めて揺るぎないものにしてください。**リスニング**、**長文読解(物語文)**、**長文読解(論説文)**に関しては、経験値次第でまだまだ伸びると思います。これからの英語の授業は、その経験値を補うことを意識しつつ、進めていきたいと思っています。また、自分でもぜひいろいろな英文に音や文字で触れてください。英字新聞(Asahi WeeklyやAlphaなど)やCNN Student News、問題集などで多様な物に自分から触れてもらいたいです。また、田中からも長文の問題集を使った演習等を行いたいと思います。共に頑張りましょう。

一方、唯一**表現力**に関しては下降してしまいました。7月模試では模試前にだいぶ練習しましたので、それも影響があるかと思っています。何にせよ、まずは恐れず、自分の解答を書くこと。そしてさらに言えば、解答を書く際に「日本語を英語に」ではなく、「何を伝える必要があるのか」を意識して英語を作ると、意外と解答はシンプルであることに気づきます。日本語に惑わされると、自然な英語にはなりません。伝えるべきことがらをイメージ化しておさえることが肝要です。そしてその基板として必要な単語力、文法・語法力を地道に身につけましょう。英語の基本は音読です。練習量がものをいうので、表現が体にしみこむまで練習してください。

今の14期生を見ていると、朝テストの範囲にかかわらず、自分から速読英単語やVINTAGEなどで学習しているのを目にします。最高です。その人数がもっと増えてくれることを願っています。

## 今後の予定（模試関係）

- 12月25日（水）～27日（金） 冬季講座
- 1月 7日（火） 冬季講座
- 1月 9日（木） 4学年、5学年プレ模試
- 1月10日（金） 5学年プレ模試
- 1月17日（金） 5学年進研模試
- 1月18日（土） 4学年、5学年進研模試
- 2月 1日（土） 4学年全統模試、5学年駿台模試
- 2月 8日（土） 5学年大学入学共通テスト早期対策模試
- 2月 9日（日） 5学年大学入学共通テスト早期対策模試

## 「受験生度」チェック

- ・志望校について、現在希望しているものはあるか？
  - ある：具体的に（ ）
  - ない
- ・受験勉強の進み具合はどうか？
  - もう始めている
  - まだ始めていない
  - いつから始めていいかわからない
- ・現在の勉強への気持ちはどうか？
  - 学力が伸びてきている実感がある
  - 受験に向けて、前向きに取り組んでいる
  - 何をどうしたらいいのかわからず悩んでいる
- ・現在の学習習慣で当てはまるものはいくつあるか？
  - 期日までに課題提出ができています
  - 毎日集中して授業に取り組んでいる
  - 予習・復習をきちんとしている
  - 部活動などをしていても、勉強時間を確保している
  - 問題集に取り組むなど、自主的な勉強に取り組んでいる

受験に向けて心がけておくことは、この3つだ。

- ①入試までの間に「いつ、何をすべきか」を明確にする
- ②「今これをやるべきことが受験勉強だ」という学習法に迷わずに取り組む
- ③将来やりたいことの明確なイメージを今から固めておく